

大阪 外部悪化受け上値解消機運高まる動き

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は表向き様子見も今週入り飛び出し値は解消へ向かいつつある。一部除き入荷殺到は伝えられていないが、国際相場の下押し圧力が一段と高まっていることを受け、上値解消圧力が日に日に強まる展開にあるようだ。同地区電炉のH2実勢値は2万5,500～2万6,500円(一部上値2万7,000円)、新断バラ同2万8,500～2万9,500円、鋼ダライ粉バラ同2万2,000～2万3,000円(同2万3,500円)見当で推移。

先週から複数の電炉筋による制限買いが継続され、フリー荷受け筋の入荷は安定が伝えられつつも、計画量を大幅に超えるほどの水準には至っていない。また、東京製鉄が様子見対応を維持しており、率劣しの値

下げは隣の姫路や中部への域外流出の増加を招き込むことも考えられるため、「製品販価への影響もあり、東鉄が下げ動かない限り、実勢下げには踏み込みにくいのでは」(ヤード業者筋)との声が聞かれる。

だが、膠着をつづけてきた米国→トルコ向けHMS NO1&2(80:20)輸出指標価格がCFR254.68ドルへ急落となり、それまでのアジア向けH2輸出商談同260ドル台を一気に下回った。米国产HMS NO1と日本産H2との適正差とされる15ドル程度の検収格差を差し引けば、アジアは非常に割高な水準となるため、「輸出の下振れ圧力は一段と強く、国内価格にも影響を与えるのでは」(商社)との見方を強めている。

丸本鋼材、破碎機を増設 選別強化に注力

(広島) 丸本鋼材(広島県広島市:丸本陽章代表取締役)は兵庫県神戸市に本社を置く近畿工業の200馬力破碎機『スーパーシュレッター』を新たに導入した。昨年10月末から稼動しており、業務用冷蔵庫等のコンプレッサーモーター、プラスチックを含む複合物や非鉄スクラップの破碎・選別強化に注力している。

丸本社長は「実際にサンプル品を持ち込んでデモンストレーションを行って頂き、導入を決めた。大型シュレッターで処理した場合、処理量が多いがその特性上、母材の潰れ・抱き込み状態で排出されるものも多く、数度のリターン処理が必要となり結果的に電力消費量が大きくなるという問題点があった。今回導入したシュレッターは1度の処理で潰れ・抱き込みをより少なくする工夫が為されており、結果的に電力消費量が抑えられる」と話す。

今後の取り組みについては「破碎機での単体分離率は目を引くものがあるが、素材選別工程での異素材どうしの絡まりという課題は残されている。国内での完全リサイクルを推進する立場として、今後も近畿工業と共に更なる破碎、選別の効率化を模索していきたい」と意気込みを語る。

同機はコンプレッサーなどのモーター類や銅含有率が高い工業系雑品スクラップの高精度な破碎・選別処理に特化している。主な特長は①処理物を連続して投

入でき、高度な単体分離破碎を実現。②破碎後の潰れ・抱き込みを抑制、純度の高い素材が回収可能。③破碎物の速やかな吐き出しで過粉碎を防止し、破碎負荷の低減。④投入品目や選別工程によって本体仕様を変えることが出来るなどが挙げられる。サイズは高さ3715mm、長さ4982mm、幅1900mm、投入口1000mm。

丸本鋼材は昭和25年4月創業。鉄をはじめ非鉄・雑品など金属スクラップ全般を扱う有力なリサイクルディーラー。多種多様なニーズに対応したリサイクル設備を完備し、金属リサイクル業界を牽引している。



新たに導入した破碎機『スーパーシュレッター』

(株)ナベショー、「もうカッター」をカネムラ鹿児島(株)へ納入、361号機目

(九州) (株)ナベショー(本社=大阪府中央区、電話06-6245-2011番)は2016年12月21日「もうカッター強化型」をカネムラ鹿児島(株)(鹿児島県姶良市加治木町木田字弥勒2308-3)へと納入した。

同社はギロチンを所持しており、加工処理をおこなっていたが、タンクや箱型構造物などの切断処理が困難であった。そのため、ギロチンの前処理が可能な

「もうカッター」に着目。導入に至った。カネムラ鹿児島(株)への導入により、「もうカッター」シリーズの累計販売台数は361機となった。



カネムラ鹿児島(株)に導入された「もうカッター強化版」